



平成 24 年 8 月 31 日 第 2 卷(第 21 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策本部 TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail:dsstsw@jaswhs.or.jp

●●●目次

- 1.災害対策本部からのお知らせ
- 2.現地支援活動報告
- 3.現地感想文
- 4.事務所感想文



上毛カルタ：○のぶ毛の国 二子塚

(群馬県前橋市)

災害対策本部からのお知らせ●●●

【1.協力員募集】

●●●現地

現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受入を行います。

中 3 日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

***9 月はまだあまり応募がありません。ご都合の付く方、ご協力をお願いいたします。

●●●事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが 1~2 ヶ月に 1 回でも構いません。ご協力をお願い致します。

【2.災害対策本部会議】

次回は 9 月 7 日(金) 19:00~協会事務所にて開催します。ご意見や検討事項がありましたら、9 月 3 日(月)までに災害対策本部まで電話やメールでお寄せください。

【3.書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン 1』
の販売を行っています。

発災から昨年 9 月 30 日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧ください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。



●●●注文用紙はホームページからダウンロードできます。

http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

●●●URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/ 公 社 日本医療社会福祉協会 - 災害対策本部 /156327867812970>

【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんが VTR にまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



●●●URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

【6.現地・事務所職員募集】

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。



上毛カルタ：㊦その（裾野）は長し 赤城山
(群馬県前橋市 前橋市役所より撮影)

●●●①現地常駐者(短期契約職員)

- ・就業場所:宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間:9~17時
※業務の関係で残業あり。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000円/月
- ・通勤費実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇。月単位でも応相談。

●●●②災害対策本部事務所担当(パート職員)

- ・就業場所:協会事務局内
- ・就業時間:週3日程度 10~17時
※業務の関係で残業あり。
※頻度・時間は応相談。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900円~ 通勤費は実費支給
- ・経験不問。医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送りください。面接にて決定させていただきます。
または災害対策本部までお気軽にお問い合わせください。

●●●お問い合わせ

住所: 〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル

電話: 03-5366-1057

担当: 笹岡・中川

●●●現地支援活動報告

活動期間:2012年8月2日~8月4日

井上 祥明(大分県 別府医療センター)

今回で4回目の現地支援でした。暑い季節に来るのは初めてでしたので東北でも九州と変わらないほどの暑さを実感し驚きました。

支援内容としては、活動させて頂いた3日間で支援が必要とあがってきたケースは、精神的フォローが必要な方々が多かった印象に思えます。訪問させて頂いた妄想性障害の疑いのある方は訪問できませんでしたが、介入が必要なケースで、アルコール、希死念慮のあるハイリスクケースなど震災から1年5ヶ月が過ぎた時点ではこのような精神的問題が顕在化しているのだなと実感しました。自殺問題などはかかわりをもつ支援者にも大きな影響を与えることが予想されるので、支援員の間でしっかりと共通認識を持ち情報共有しながら支えていく事の必要性を改めて考えなおしました。

また、今回は現地支援員の武山さんの協力も頂き、石巻市役所の福祉避難所の担当課長さんとお話をさせていただく機会を作ってもらうことができ、被災前の福祉避難所の設置の状況や今後の課題などを伺う事ができ、とても貴重なお話を聞かせて頂きました。

活動期間:2012年7月27日~7月28日

成田 すみれ(神奈川県)

昨年4月に続き2回目の石巻でした。昨年5月より「神奈川県介護支援専門員協会」として女川町支援に関わっていて、町からの依頼で仮設住宅への生活状況調査(入院後の医療福祉等ニーズ把握プレ調査)をしていました。※今年1月にて終了

今回は仮設ではなく、被災住宅に暮らす被災者への医療・福祉等ニーズ調査支援ということで、被災直後の地域巡回調査(4月10日?)参加以降気になっていた方々への電話や、訪問フォローは非常に有意義且つ、大事だと実感しました。電話による状況把握は、発信者側の関わりが難しく、いつ訪問・電話した誰なのかを丁寧に伝えないと不信感を持たれてしまうので様子を確認しながら実施しました。対象者自身が就労や求職活動中など不在も多く、電話がつかないなどの「空振り」も少なくありませんでした。しかし、確認者の中には、まだ、不明親族の確認ができず気持ちの整理ができないなど「真の復興」とは言い難い方もいて、ハード環境の再整備は進められても、ソフトの環境(人の心や気持ちのリカバー)には時間と、地域も含めた多様な人的支援が不可欠であり、そのような視点からも今回の『復興協議会』の存在と役割は重要且つ、貴重な活動であることが確認できました。

また機会を作り、参加させていただきたく考えています。

●●●現地感想文

●●●8/23 久保木美由紀(現地担当)

河北新報に被災者ローンの制度利用が低調という記事がでていました。被災者が利用しやすい手続き方法や、情報提供の仕方を考えていくことが重要だと思いました。

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/08/20120823t13038.htm>

●●●8/25 依光則子(現地担当)

現在アセスメント班の皆さんは北上地域を調査中。浸水しなかった地域も対象です。津波被害はなくとも大川小の校区でした。

調査に入ったお宅のお母さんが「少しでも多くの方に手にとっていただければ…」と仰ったという、絵本「ひまわりのおか」

<http://www.amazon.co.jp/dp/4265006329/>

北上大橋のたもと、お母さんたちの育てたひまわりが今年も咲いているそうです。

●●●8/26 公文理賀(高知県・嶺北中央病院)

瓦礫の山に草が生え、遠くから見ると緑の丘のようにさえ見える景色に声を失った。あれから、1年半が経ち、不自由な中にも現状を受け入れようとする被災地の方々と面談をさせていただいた。私に何ができるのか？高知からの道中、また石巻での滞在中ずっと考えてきたことであった。最後に面談させていただいた方に、「あなたが来てくれてよかったわ」と言っていた。何もできなかったが、その言葉だけをお守りに帰途につこうと思う。

南海地震の時、少しでも役に立てるSWの礎を高知で築いていきたいと思います。現地スタッフに心より感謝いたします。

●●●8/27 中辻康博(現地担当)

昨日は高知・神奈川組と1期・2期ともに、北上・河北地区を中心にフォローを行いました。気温は30度近くですが、市街地では感じられないさわやかな風に癒されました。

近くに商店も少ないため、訪問前に準備した水分をしっかりと摂り、熱中症には気を付けて活動していきたいと思います。

●●●事務所感想文

群馬県の尾方先輩に続き、夏休みを利用して、事務所ボランティアに来ました。ホームページのアップの方法や初体験のこともありましたが、災害対策本部の三輪さんが親切に教えていただきました。ありがとうございました。現地の皆様のために事務所ボランティアも頑張っています。また事務所にも足を運びたいと思います。

8/23 群馬県・前橋市地域包括支援センター西部 竹内勇治

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成 24 年 8 月 31 日 第 2 卷 21 号
作成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会